

令和6年度 草加市立青柳中学校 第1学年 社会科シラバス

○教科の学習目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。

○評価の観点・資料・評定

【評価の観点】A・B・C

- ① 「知識・技能」
- ② 「思考・判断・表現」
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」

【評価の資料】

- ① 定期テスト、小テスト、技能テスト
- ② 定期テスト、レポート、グループ活動
- ③ 授業態度(挙手発言、提出物等)
諸課題の取り組み状況、定期テスト

【評定】5・4・3・2・1

観点別評価を総合して、学期ごとに5段階評定。

1年間を通して3学期に、5段階で学年評定。

○教科の学習の方法

授業で学ぶことに興味を持つことが大切です。「なぜ」「どうして」「どのようにして」という視点で物事を考えてみると自分の視野が広がり、社会の授業は楽しいと感じます。さらに、興味が持てたら、自分だったら「どうしようか」「このようにしてみる」というように自分事として物事を考えてみる。このようにして考えたことは知識に変わります。思考・判断・表現の力もつきます。主体的に学習にも取り組めるでしょう。

社会科の学習は興味を持つことから始まります。

	学習内容	学習のねらい
一学期	[地理分野] 第1編 世界と日本の姿 第1章 世界の姿 第2章 日本の姿	○位置や分布などに関わる視点に着目して、地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現する力をつけ、世界と日本の地域構成を大観し理解する。
	第2編 世界の様々な地域 第1章 世界各地の人々の生活と環境 第2章 世界の諸地域	○場所や人間と自然環境との相互関係などに関わる視点に着目して、世界各地の人々の生活が営まれる場所の自然的条件と社会的条件とを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力をつけ、世界の人々の生活や環境の多様性と相互依存関係を理解する。
	1節 アジア州 2節 ヨーロッパ州 3節 アフリカ州	
	4節 北アメリカ州 5節 南アメリカ州 6節 オセアニア州	
	[歴史分野] 第1章 歴史へのとびら 1節 歴史を捉える見方・考え方 2節 身近な地域の歴史	○歴史的分野の学習に必要とされる基本的な知識および技能を身に付け、主体的に調べ分かつようとして課題を意欲的に追及する態度を養う。
	第2章 古代までの日本 1節 世界の古代文明と宗教のおこり 2節 日本列島の誕生と大陸との交流 3節 古代国家の歩みと東アジア世界	○我が国の古代までの特色を、世界の動きとの関連を踏まえて課題を追及したり解決したりする活動を通して、人類のおこりや文明の発生から12世紀ごろまでの歴史について理解する。
二学期	第3章 中世の日本 1節 武士の政権の成立 2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開	○我が国の中世までの特色を、世界の動きとの関連を踏まえて課題を追及したり解決したりする活動を通して、12世紀ごろから16世紀ごろまでの歴史について理解する。
	第4章 近世の日本 1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	○我が国の近世の特色を、世界の動きとの関連を踏まえて課題を追及したり解決したりする活動を通して、江戸幕府が開かれる前までの歴史について理解する。
三学期		

令和6年度 草加市立青柳中学校 第2学年 社会科シラバス

○教科の学習目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを旨とする。

○評価の観点・資料・評定

【評価の観点】A・B・C

- ④ 「知識・技能」
- ⑤ 「思考・判断・表現」
- ⑥ 「主体的に学習に取り組む態度」

【評価の資料】

- ④ 定期テスト、小テスト、技能テスト
- ⑤ 定期テスト、レポート、グループ活動
- ⑥ 授業態度(挙手発言、提出物等)
諸課題の取り組み状況、定期テスト

【評定】5・4・3・2・1

観点別評価を総合して、学期ごとに5段階評定。
1年間を通して3学期に、5段階で学年評定。

○教科の学習の方法

授業で学ぶことに興味を持つことが大切です。「なぜ」「どうして」「どのようにして」という視点で物事を考えてみると自分の視野が広がり、社会の授業は楽しいと感じます。さらに、興味が持てたら、自分だったら「どうしようか」「このようにしてみる」というように自分事として物事を考えてみる。このようにして考えたことは知識に変わります。思考・判断・表現の力もつきます。主体的に学習にも取り組めるでしょう。

社会科の学習は興味を持つことから始まります。

	学習内容	学習のねらい
一 学 期	[地理的分野] 第3編 日本のさまざまな地域 第1章 地域調査の手法 第2章 日本の地域的特色と地域区分 第3章 日本の諸地域 1九州地方 2中国・四国地方 3近畿地方 4中部地方	○身近な地域の情報を集めて、それを基に適切な調査テーマを設定し、見通しをもって調査方法・調査計画を立てし、主体的に追究する。 ○日本全体の地域的特色について、探究課題を立て、見通しをもって主体的に追究する。 ○日本の諸地域について、様々な視点を基に、よりよい社会の実現のため、そこで見られる課題を主体的に追究する。
	5関東地方 6東北地方 7北海道地方	
	[歴史的分野] 第4章 近世の日本 1ヨーロッパ人との出会いと全国統一 2江戸幕府の成立と鎖国 3産業の発達と幕府政治の動き 第5章 開国と近代日本の歩み 1欧米における近代化の進展	○世界の動きと戦国大名の統一事業、武士政権である江戸幕府について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身につける。 ○欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解する
	2欧米の進出と日本の開国 3明治維新 4日清・日露戦争と近代産業	○開国とその影響、江戸幕府の滅亡、明治維新によって近代国家の基礎が整えられたことを理解する。
三 学 期		

令和6年度 草加市立青柳中学校 第3学年 社会科シラバス

○教科の学習目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを旨とする。

○評価の観点・資料・評定

【評価の観点】A・B・C

- ⑦ 「知識・技能」
- ⑧ 「思考・判断・表現」
- ⑨ 「主体的に学習に取り組む態度」

【評価の資料】

- ⑦ 定期テスト、小テスト、技能テスト
- ⑧ 定期テスト、レポート、グループ活動
- ⑨ 授業態度(挙手発言、提出物等)
諸課題の取り組み状況、定期テスト

【評定】5・4・3・2・1

観点別評価を総合して、学期ごとに5段階評定。
1年間を通して3学期に、5段階で学年評定。

○教科の学習の方法

授業で学ぶことに興味を持つことが大切です。「なぜ」「どうして」「どのようにして」という視点で物事を考えてみると自分の視野が広がり、社会の授業は楽しいと感じます。さらに、興味が持てたら、自分だったら「どうしようか」「このようにしてみる」というように自分事として物事を考えてみる。このようにして考えたことは知識に変わります。思考・判断・表現の力もつきます。主体的に学習にも取り組めるでしょう。

社会科の学習は興味を持つことから始まります。

	学習内容	学習のねらい
一 学 期	<p>【歴史的分野】</p> <p>○二度の世界大戦と日本</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 第一次世界大戦と日本 2 世界恐慌と日本の中国侵略 3 第二次世界大戦と日本 <p>○現代の日本と私たち</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 戦後日本の進展と国際社会 2 新たな時代の日本 	<p>○近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付ける。</p> <p>○冷戦、日本の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解する。</p>
二 学 期	<p>【公民的分野】</p> <p>○現代社会と私たち</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現代社会の特色と私たち 2 私たちの生活と文化 3 現代社会の見方や考え方 <p>○個人の尊重と日本国憲法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人権と日本国憲法 2 人権と共生社会 3 これからの人権保障 <p>○現代の民主政治と社会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現代の民主政治 2 国の政治の仕組み 3 地方自治と私たち <p>○私たちの暮らしと経済</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 消費生活と市場経済 	<p>○現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解する。</p> <p>○人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解する。</p> <p>○民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わる。</p>
三 学 期	<ol style="list-style-type: none"> 2 生産と労働 3 市場経済の仕組みと金融 4 財政と国民の福祉 5 これからの経済と社会 <p>○地球社会と私たち</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国際社会の仕組み 2 さまざまな国際問題 3 これからの地球社会と日本 <p>○より良い社会を目指して</p>	<p>○市場経済の基本的な考え方について理解する。その際、市場における価格の決めり方や資源の配分について理解する。</p> <p>○世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わる。</p>